

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

| | | | | | | | |
|---|--|------------|---|-----|---|----------|------|
| 教科名 | 国語 | 科目名 | 現代の国語 | 単位数 | 2 | 履修学年・クラス | 1ABC |
| 担当者 | | 使用教材 | 高等学校 標準現代の国語(第一学習社) | | | | |
| 学習目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>○実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>○論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> | | | | | | |
| 学習方法 | <p>○様々な文章を読み、語句の意味を調べながら文章を正確に理解する。</p> <p>○文章中の接続表現、対比関係、具体化、抽象化に着目し、構成・展開をふまえて内容を理解する。</p> <p>○要旨をまとめたり自分の考えを書いたり話し合ったりしながら思考力や表現力を伸ばす。</p> <p>○語句や表現方法などについて理解したことを繰り返し練習し、自分で活用できるようにする。</p> | | | | | | |
| 学習評価 | 評価の観点 | | 科目の評価の観点の趣旨 | | | | |
| | 知 | 知識・技能(技術) | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 | | | | |
| | 思 | 思考・判断・表現 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | | | | |
| | 態 | 主体的に取り組む態度 | 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しみことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 | | | | |
| ※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。 | | | | | | | |

| 学期 | 単元(題材) | 学習内容 | 評価の観点 | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|------|--|---|-------|---|---|--|-----------------------------------|
| | | | 知 | 思 | 態 | | |
| 前期中間 | 【理解編】 なぜ本を読むのか(又吉直樹) 世界は謎に満ちている(手塚治虫) | ・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や事例から把握する。 | ○ | ○ | ○ | 【知】漢字や語句の意味を理解し、得られた知識を活用している。 【思】構成や論理展開を捉えて要旨を把握している。 【態】筆者の主張と論拠の関係を理解しようとしている。 | ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ノート確認 |
| | 【表現編】 話し方の工夫 論理的な表現 | ・話し言葉を書き言葉の特徴を理解する。相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・論理的に表現するための主張と理由の関係性について理解する。 | ○ | ○ | ○ | 話し言葉の特徴を踏まえて表現方法を工夫している。 文章構成や展開を工夫している。 | ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査 |
| | 書き方の基礎レッスン | ・表記・表現の基本ルールを理解する。接続表現の用法を理解する。 | ○ | ○ | ○ | 修辞について理解し活用している。 | |
| | 【理解編】 言葉遣いとアイデンティティ(村上桃子) 言語としてのピクトグラム(本田弘之) | ・人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体例とともに理解する。 ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について理解する。 | ○ | ○ | ○ | 【知】漢字や語句の意味を理解し、得られた知識を活用している。 【思】構成や論理展開を捉えて要旨を把握している。 【態】筆者の主張と論拠の関係を理解しようとしている。 | ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ノート確認 |
| 前期末 | 【表現編】 情報の探索と選択 情報源の明示 | ・必要な情報を探す方法を理解する。 ・引用の目的と具体的な方法を理解する。 | ○ | ○ | ○ | 情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探している。 引用方法や出典の示し方を理解し、活用している。 | ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査 |
| | 地域の魅力を紹介する | ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書く。 | ○ | ○ | ○ | 目的に合った適切な資料を集めて、明確に伝えている。 | |
| | 【理解編】 水の東西(山崎正和) ステレオタイプの落とし穴(原沢伊都夫) | ・対比関係を用いながら、日本の水文化の特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ステレオタイプを説明するための論理展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。 | ○ | ○ | ○ | 【知】漢字や語句の意味を理解し、得られた知識を活用している。 【思】構成や論理展開を捉えて要旨を把握している。 【態】筆者の主張と論拠の関係を理解しようとしている。 | ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ノート確認 |
| 後期中間 | 【表現編】 待遇表現 相手に伝わる案内をする | ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・目的に沿って的確に案内する方法を理解し、相手や場の状況を押さえて案内する。 | ○ | ○ | ○ | 敬語表現を理解して、学習課題に沿って使っている。 相手や目的、場面を考慮して、わかりやすく案内している。 | ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査 |
| | 実用的な手紙文の書き方 | ・依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 | ○ | ○ | ○ | 書き言葉の特徴や文章構成について理解し活用している。 | |
| 後期末 | 【理解編】 「弱いロボット」の誕生(岡田美智男) 人はなぜ仕事をするのか(内田 樹) | ・「弱いロボット」の開発意義を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 ・「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 | ○ | ○ | ○ | 【知】漢字や語句の意味を理解し、得られた知識を活用している。 【思】構成や論理展開を捉えて要旨を把握している。 【態】筆者の主張と論拠の関係を理解しようとしている。 | ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ノート確認 |
| | 【表現編】 合意形成のための話し合いを行う | ・話し合いの進め方のルールを理解し、論点を共有し考えを話し合う。 | ○ | ○ | ○ | 表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を理解している。 | ・課題の提出 ・小テスト |
| | 社会に対する意見文を書く | ・意見文の書き方を理解し、自分の経験から意見を導き出して書く。 | ○ | ○ | ○ | 表現方法を工夫し、読み手が理解しやすいように書いている。 | ・定期考査 |